

四国中央市ボランティア市民活動センター 令和5年度 事業計画書

【テーマ】 ボランティア活動が身近に感じられる情報発信

【方策毎の実施計画】

その1 ボランティア市民活動センターのプロモーション

●5代目ボラ7 現在17名（1年生6名、2年生11名）

主催イベント『しこちゅ～すまいる☺ フェスティバル 2023』の開催が決定

日程：12月17日（日）10：30～14：30 場所：市役所市民交流棟

●ボラ7通信の発行（年間4回）

ボラ7が市内のボランティアやイベント等を取材して原稿作成

●画像共有アプリ Instagramによる情報発信 ※ボランティアイベント、まちの魅力など

●ホームページ、市報、コスモステレビでの各種情報発信

その2 ボランティア市民活動を行うためのきっかけづくり

●ボランティア市民活動研修会

	月 日	研 修 内 容	講 師
第1回	4月29日(土)	子どもたちの未来に希望を ～モヨチルドレンセンター の歩み～	モヨチルドレンセンター 佐藤 南帆 氏
第2回	8月3日(木)	あいサポーター研修	四国中央市障がい者福祉団体連合会 川之江支部 会長 山口 佐人 氏
第3回	8月17日(木)	歴史ロマンに想いを馳せて	ソラとオトノワ

時 間：13時30分～15時

場 所：市役所市民交流棟 2階会議室

定 員：各回50名程度

●ボランティア養成講座

	日時	研修内容	講師
全3回	11月～12月 13時～15時30分	傾聴ボランティア養成講座	産業カウンセラー 加地 初美 氏
全3回	11月～12月 13時～15時30分	朗読ボランティア養成講座	未定

場 所：市役所市民交流棟 2階会議室

定 員：各回30名程度

●ボランティア学習

学校において継続的に福祉学習を行うことで、子どもたちが持っているボランティア精神を引き出し、活動への自主性を育む。

●災害ボランティア研修会（案）

日 時：令和6年3月中頃

内 容：実際に被災地支援を体験した方などを講師として招き、講演会を実施予定。

災害に対する危機感を持ち、平時から備えることの重要性を考えるきっかけとする。

その3 支援体制の充実

●ボランティア市民活動交流会（案）

日 時：令和6年3月中旬

⇒災害ボランティア研修会とあわせて災害ボランティア交流会を開催予定

場 所：四国中央市消防防災センター 3階大会議室

内 容：団体同士の交流、各団体の災害時における役割などを考える。

●ボランティアへの場所・設備の提供

市民交流棟をより快適に利用できるよう、会議室や設置している機器について広く周知するとともに、適切な維持管理に努める。

●ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動できるようボランティア保険の加入促進を図る。

その4 企業ボランティアの推進

●企業ボランティアの登録促進

多種多様な社会のニーズに幅広く対応できるよう、様々な業種の企業登録を進める。

●企業ボランティア活動の場を創出

企業ボランティア活動の場を拡充するため、SNS や HP を活用した効率的な情報提供等について研究する。

●ボラ7による企業ボランティアの取材と情報発信

ボランティアに取り組む企業の取材と情報発信をボラ7が担い、高校生ならではの視点で同世代に企業の魅力を発信することで、若者世代が企業の取組みを知る機会とする。

●災害ボランティアのネットワークづくり

登録ボランティア、企業、NPO などの関係団体において、災害時に役立つネットワークを構築する。